

2025年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

当院では看護職員の負担軽減に向けて、各職種で業務分担や勤務体制、業務の見直しを行い
チームとしてより良い医療を提供できるよう取り組んでおります。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

取り組み事項	具体的な内容
業務量の調整	①日勤リーダー看護師の育成と配置 ②看護部業務改善委員会にてアンケート調査と業務改善に取り組む
看護職員と多職種との業務分担	①病棟定数薬の最小化、 ②リハ職によるバイタルサイン入力や呼吸リハ介入 ③MSWによる入院前面談④管理栄養士によるミールラウンド
看護補助者の配置	①介護福祉士による日常生活の援助・ケア ②介護福祉士夜勤2名体制、準夜帯の外国人介護職の配置 ③全病棟看護助手の配置でシーツ交換や洗浄、清掃業務を担当
病棟クラークの配置	全ての病棟にクラークを配置し、事務作業の業務負担を軽減
短時間雇用の看護職員活用	入浴業務専属のパート看護師を採用
多様な勤務形態の導入	①20種類以上の勤務形態 ②夜勤専従看護師も採用
妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	①本人の希望にそった夜勤・休日勤務の減免体制 ②1時間単位有給休暇の活用 ③看護休暇や介護休暇の利用。雇用形態の変更希望への対応
夜勤負担の軽減	①夜勤看護師3名体制 ②夜勤専従者を採用 ③夜勤者の休日確保 ④夜勤明け翌日休みの勤務基準遵守
業務のIT化促進	①電子カルテモバイル端末 ②インカムやTeamsで情報伝達 ③研修アンケートや患者満足度調査のオンライン化で委員会業務負担軽減
能力開発	①時間外研修原則なし ②研修参加費の病院負担 ③出張扱いで研修参加
職員の体調管理	ノーリフトケアを推進し腰痛対策。ボックスシーツ導入の検討。 心理的安全性の高い職場づくり。 看護科長と病棟職員の1on1(定期面談)の実施。